しこくちゅうおうし 四国中央市	〒799-0497 四国中央市三島宮川4丁目6番55号		電話番号	(0896) 28−6000
	地域指定	辺地(3)　農工　特農　県立公園　工配 農振　過疎　山振	FAX	(0896) 28−6056 (総務課)

〈沿　革〉

昭29. 3.31　新宮村(合体:上山村・新立村)
昭29. 3.31　土居町(合体:長津村・小富士村・蕪崎村・天満村・土居村・関川村)
昭29.11. 1　川之江市(合体【市制施行】:川之江町・金生町・上分町・金田村・川滝村・妻鳥村)
昭29.11. 1　伊予三島市(合体【市制施行】:松柏村・三島町・寒川町・豊岡村・金砂村・富郷村)
平16. 4. 1　市制施行(川之江市・伊予三島市・土居町・新宮村　合併)

〈市町村のあらまし〉

愛媛県の東端部に位置し、東は香川県、北は瀬戸内海に面し、更に南東で徳島県、南は四国山地を介して高知県に接している。

四国縦貫・横断道の結節点として、2つのジャンクションと3つのインターチェンジがあり、四国各県の県庁所在地まで約1時間と、まさに四国の中央、交通の要衝の地といえる。

産業としては、川之江・三島地域の紙・紙加工業、そして土居・新宮地域の第1次産業と大きく分類されるが、製造品出荷額等はおよそ6千億円ほどであり、四国最大規模の工業都市となっている。

〈由　来〉

川之江市、伊予三島市、土居町、新宮村の4市町村が合併して誕生した「四国中央市」は、全国からみても新市の位置を地理的にイメージしやすい名称であり、「四国の4県」が接する自治体である。また、エックスハイウェイの結節点に位置し、四国4県の県庁所在地のいずれにもほぼ1時間で結ばれるという好条件にあり、更に四国最大規模の国際貿易港(三島川之江港)を抱え、海上交通の要衝としても期待が高まってきている。

将来、道州制が導入されたときには、これらの好条件を生かし、四国の交流拠点都市として一層の発展をという希望、気概が込められた名称である。

〈庁舎の建設年度〉

建築年度	増 改 築	主な増改築箇所
昭48年度	平成15年度	福祉会館

〈行政組織〉

(平成25.4.28現在)

区　分	名　前	任　期
市　長	篠原(しのはら)　実(みのる)	平成29. 4.27
副市長	真鍋　譲	平成26. 7.31

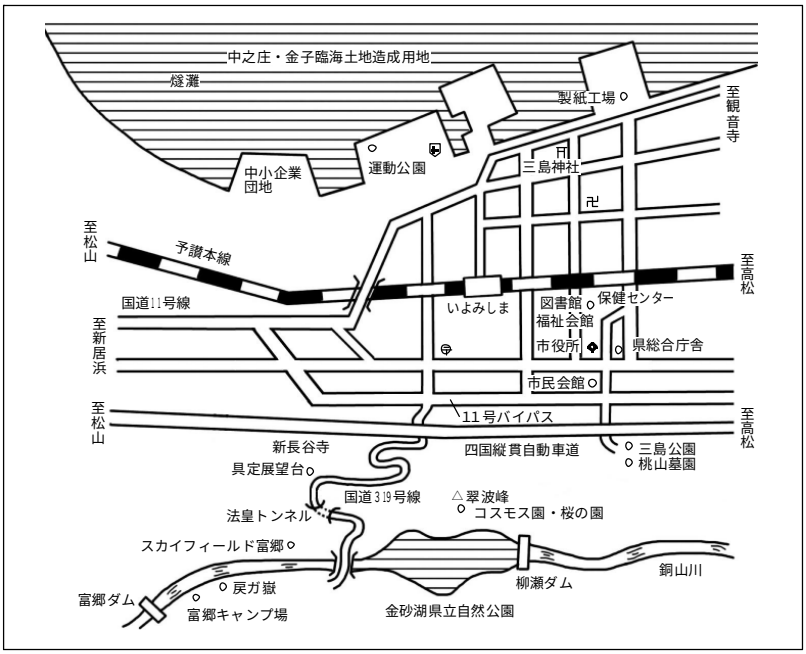
議　会　(平成25.11.28現在)

議長	山本　照男	副議長	谷内　開
議員	(条例定数)		26人
	(現　員)		26人
任期	平成28.11.27		

職員数(平成25.4.1現在)

普通会計	795人
企業会計	123人
その他会計	55人
計	973人

〈地　図〉



(交通機関)　　ＪＲ伊予三島駅から徒歩１０分　三島・川之江ＩＣから車で１０分

〈人口・世帯数〉　　（　　）は増減率

区　分		60国調	平2国調	平7国調	平12国調	平17国調	平22国調	25.3.31住基
人　口		(1.9%) 97,005	(0.2%) 97,215	(△1.6%) 95,658	(△1.4%) 94,326	(△1.6%) 92,854	(△2.9%) 90,187	92,130
	男	47,061	47,414	46,465	45,683	45,013	43,659	44,749
	女	49,944	49,801	49,193	48,643	47,841	46,528	47,381
世帯数		28,744	30,607	31,540	32,957	34,419	34,951	38,189

年齢構成　（平22国調）

区　分	14歳以下	15歳以上64歳以下	65歳以上
人　口	11,821　人	54,314　人	23,369　人
構成比	13.2　%	60.7　%	26.1　%

選挙人名簿
登録者数　（平25.9.2現在）

男	36,358　人
女	39,116　人
計	75,474　人

〈土地利用〉　　（平22.2.1現在）　（ha.　%）

総　面　積 平24.10.1（㎢）	林野面積	林　野　率	経営耕地面積				宅地化率 平24.1.1
				田	畑	樹園地	
420.57	32,697	77.8	1,233	939	79	215	9.5

〈産　業〉　産業構造　　（百万円・人）

区　分	総生産額（平22年度）		就業人口（平22国調）	
第１次	4,005	0.9　%	1,975	4.6　%
第２次	203,810	46.6　%	16,447	38.4　%
第３次	229,921	52.5　%	22,922	53.5　%
計	437,735	100.0　%	42,856	96.5　%

（注）「総生産額」の計欄は帰属利子の控除等を行っており、「就業人口」の計欄は分類不能の人数を含む。

主要製造業　（平23年）　（百万円）

品　　名	製造品出荷額等
パルプ	486,541
プラスチック	38,309

所得　（平22年度）

１人当たり 市町民所得	千円 3,137

平成24年度の主な建設事業　（百万円）

事　業　名	事　業　費
小中学校施設耐震化事業	1,682
市民文化ホール建設事業	1,213
公共下水道事業	666
塩谷・小山線街路改良事業	313
宮川周辺地区整備事業	284
県営港湾改良事業	276
浸水対策事業	269
寒川東部臨海土地造成事業	165
西部臨海土地造成事業	117
クリーンセンター整備事業	199

今後の主な建設事業　（百万円）

事　業　名	事　業　費
小中学校施設耐震化事業	－
市民文化ホール建設事業	－
公共下水道事業	－
塩谷・小山線街路改良事業	－
宮川周辺地区整備事業	－
県営港湾改良事業	－
浸水対策事業	－
寒川東部臨海土地造成事業	－
西部臨海土地造成事業	－
消防防災センター（仮称）建設事業	－

〈観光・レクリエーション〉

名勝旧跡 観光施設	三角寺（四国65番札所）　真鍋家（国重要文化財）　向山古墳（国指定文化財）　東宮山古墳　城山公園 紙のまち資料館　翠波高原　金砂湖畔公園　法皇スカイライン　富郷渓谷　富郷キャンプ場　富郷ダム てらの湖畔広場　三島公園　具定展望台　新長谷寺　下柏の大柏（天然記念物）　塩塚高原 旧土佐街道　橡尾山　新宮ダム　森の湖畔の公園　寒川豊岡海浜公園ふれあいビーチ　霧の森 霧の高原　すすきヶ原入野公園（桜の名所）　二ツ岳　赤星山　東赤石山　大楠（大川） 花菖蒲（西福寺）　奥之院仙龍寺　霧の森交湯～館
祭　り 催し物	桜まつり（4月上旬）　菜の花まつり（4月中旬） お茶まつり（6月上旬）　あじさいまつり（6月下旬） 夏まつり（7月中旬土曜日・8月15日）　みなと祭（7月23～25日） 紙まつり（7月最終土・日曜日）　湖水まつり（8月上旬） 鐘踊り（8月最終日曜日）　コスモス祭（8月下旬日曜日） 土居のいもたき（9月上旬～9月末）　秋まつり（10月13日～15日・10月20日～23日）
公　営 宿泊施設	霧の森コテージ7棟　霧の高原コテージ4棟（4月～10月）

〈名物・特産品〉

紙加工品　水引細工　手すき和紙　煮干いりこ　えびちくわ　里芋　つぐね芋　赤石五葉松　みかん
茶　霧の森大福

〈主な公共施設〉

紙のまち資料館　川之江城　川之江高原ふるさと館　市民会館　文化センター　文化会館　暁雨館　福祉会館
福祉センター　保健センター　図書館　農村環境改善センター　運動公園　市民体育館　市民プール　野球場
テニスセンター　スカイフィールド富郷　浜公園多目的広場　三島公園　森と湖畔の公園　新田公園　やまじ風公園
大地山公園　すすきヶ原公園　関川河川敷公園　老人福祉センター　クリーンセンター　国保診療所　少年自然の家
養護老人ホーム　特別養護老人ホーム　老人憩いの家　防災センター　霧の森交湯～館

〈主要課題〉

協働によるまちづくり及び計画的・効率的な行財政運営の具現化のため、平成22年度に第2次行政改革大綱及びその実施計画として行政品質向上プランを策定した。

地域主権・地方分権への対応としての市民自治の確立と、持続可能な行財政運営のための市役所の構造改革を実施し、市民目線に立った利便性の高い公共サービスの提供と、市民から信頼される公平で公正な行政運営に努める。

具体的な取組としては、地域社会の絆の再生を図るための地域コミュニティ基本計画の策定、自治基本条例に基づいたまちづくりを推進する市民自治推進委員会の設置、審議会等運営指針の適切な運用による市民への情報提供、機動的な組織づくりのためのグループ制導入の検討などを進める。

また平成23年度よりは職員一人ひとりの「気づき」を日常の業務改善につなげる仕組みをつくり、職員の意識改革と行政の品質向上を図っている。

〈地域づくりの事業等〉

○平成11年度に新宮地域でオープンした「霧の森」と「霧の高原」の観光施設や、平成17年8月にオープンした天然温泉を兼ねた研修施設「霧の森交湯～館」を最大限に活用し、運営主体である第3セクターが全国的なモデルになる成功例として平成22年度に「地域づくり総務大臣表彰」を受賞したことを追い風に、産業振興、雇用の創出を図り、今後更に都市と農村との交流を促進して交流人口の増加につなげていく。

○土居地域の運営委員会が主催の「いもたき」は毎年9月に１ヶ月間、関川河川敷（ふるさと広場）で行われており好評を得ている。

○三島川之江IC周辺部をイルミネーションで装飾することをきっかけとして、市内への流入人口の増加、地域の活性化を図ることを目的に、民間若手団体で構成する実行委員会と実施する「市民で灯そう10万の光り事業」や、子どもの基礎体力向上や子育て環境の充実をはじめ、世代間のふれあいの場の創出、地域の活性化を図るため、市民と実施する「園庭・校庭等芝生化事業」など、市民と協働のまちづくりを推進していく。

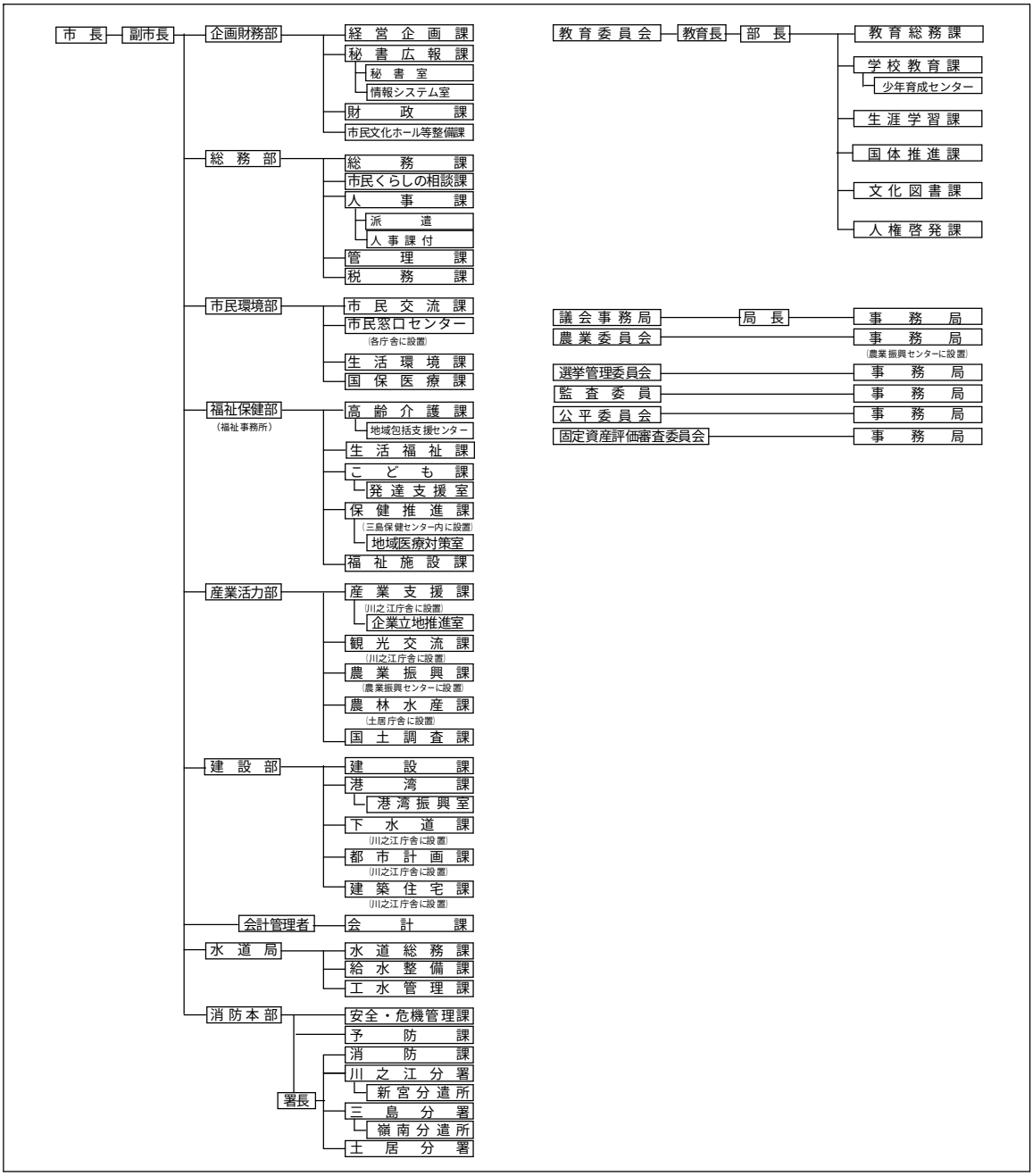
○本市の書道パフォーマンス甲子園の実話を基に、市内ロケが行われた映画「書道ガールズ!!わたしたちの甲子園」（平成22年5月15日公開）をきっかけとして、又、地域の活性化に大きく貢献したイベントとして「第15回ふるさとイベント大賞」優秀賞を受賞したことを追い風に、日本一を誇る紙のまちである四国中央市をPRし、観光客の誘致や紙産業などのブランド化、産業・地域の活性化を推進していく。

○「紙のまちの子育て応援」として、地元紙おむつメーカーとの協働により1歳未満の子どもがいる家庭に紙おむつを無償で提供する事業を実施しており好評を博している。紙製品の地産地消により地場産業の活性化につなげるとともに子育て環境四国一を目指していく。

〈市町が出資している地方公社の設立状況〉 (平成25.4.1現在)

形態	地方公社の名称	設立登記年月日	資本金(千円) 出資割合(%)	主な事業内容
(株)	株式会社やまびこ	平10. 6.19	125,500 (79.7)	観光施設の管理運営
(株)	株式会社四国中央テレビ	平16. 7.26	300,000 (25)	ケーブルテレビの管理運営
(株)	株式会社四国中央市総合サービスセンター	平19. 5.18	10,000 (70)	学校給食調理業務、派遣事業
(公財)	四国中央市体育協会	平24. 6.11	118,000 (45.8)	体育施設の管理運営、スポーツの普及

〈総合計画〉

基本構想			基本計画
計画の名称	議決年月日	期間	期間
第1次四国中央市総合計画	平17.3.25	平17～平26年	平22～平26年

〈行政機構〉 (平成25.4.1現在)